

Information Disclosure Statements (IDS)

PRIOR ART

1. Japanese Patent Publication(Kokai) No.10-154274

This Publication discloses a MIX & MACTH(M&M) system that when a person buys a plurality of pre-specified articles at one shop, the total price of the pre-specified articles is discounted in a predetermined amount or at a predetermined rates.

However, the Publication does not disclose an M&M system in a virtual mall site in which a plurality of virtual shops participates.

2. Japanese Patent Publication(Kokai) No.2000-163480

This Publication discloses an on-line shopping system in a virtual mall site that a plurality of virtual shops participates. A person accesses to the virtual mall site and can buy items sold at the shops.

This Publication does not also disclose an M&M system in a virtual mall site.

ALL U.S. ISSUED PATENTES AND PENDING APPLICATIONS OF THE SAME
APPLICATS/ASSIGNEE CONTAINING SIMILAR SUBJECT MATTER

We do not find any such issued patents and pending applications.

OK

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-154274

(43) 公開日 平成10年(1998) 6月9日

(51) Int.Cl.[°]

G 0 7 G 1/12

識別記号

3 6 1

F I

G 0 7 G 1/12

3 6 1 E

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平8-310874

(22) 出願日

平成8年(1996)11月21日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 田島 康弘

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(74) 代理人 弁理士 後藤 洋介 (外2名)

(54) 【発明の名称】 POS売上げ登録方法および装置

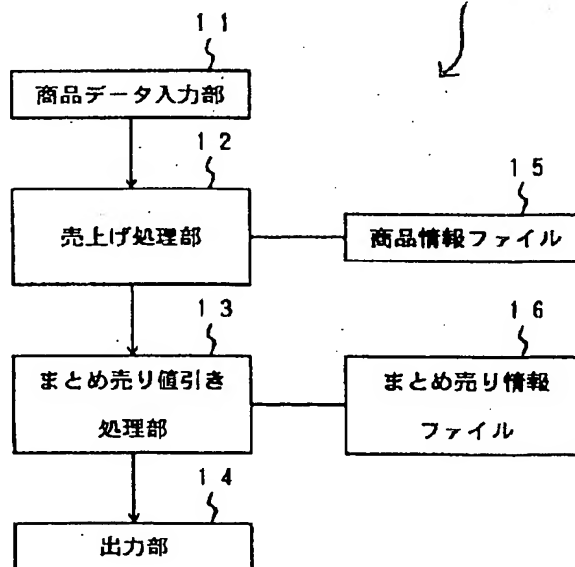
(57) 【要約】

【課題】 まとめ売り販売において、商品データの入力順によらず、常に合計金額が変わらない売上げ登録方法を実現する。

【解決手段】 商品情報ファイル15は、商品の名称、価格、まとめ売りの対象／非対象等の商品情報を格納する。まとめ売り情報ファイル16は、まとめ売り値引き設定額情報を格納する。商品入力部11は商品データを入力する。売上げ処理部12は商品情報ファイル15を参照して入力商品順に売上げ計算をする。まとめ売り値引き処理部13はまとめ売り情報ファイル16を参照してまとめ売り値引き額を計算する。出力部14は途中の処理結果と合計金額とを出力する。

1 0

POS装置



【特許請求の範囲】

【請求項1】 1取り引きの中でのまとめ売り対象商品について、価格の高い順にまとめ売りを成立させて、値引き合計額を計算するステップと、その値引き計算結果により売上げ合計金額を算出するステップとを含むことを特徴とするPOS売上げ登録方法。

【請求項2】 商品情報を商品情報ファイルに格納するステップと、まとめ売り値引き設定情報をまとめ売り情報ファイルに格納するステップと、商品データを入力するステップと、前記商品情報ファイルを参照して入力商品順に売上げ計算をするステップと、前記まとめ売り情報ファイルを参照してまとめ売り値引き額を計算するステップと、前記売上げの計算結果と前記まとめ売り値引き額とを出力するステップと、を含むことを特徴とするPOS売上げ登録方法。

【請求項3】 前記商品情報が、商品の名称、価格、まとめ売りの対象／非対象等を含む、請求項2に記載のPOS売上げ登録方法。

【請求項4】 1取り引きの中でのまとめ売り対象商品について、価格の高い順にまとめ売りを成立させ、値引き合計額を計算する手段と、その値引き計算結果により売上げ合計金額を算出する手段とを有することを特徴とするPOS売上げ登録装置。

【請求項5】 商品情報を格納する商品情報ファイルと、まとめ売り値引き設定情報を格納するまとめ売り情報ファイルと、商品データを入力する商品データ入力手段と、前記商品情報ファイルを参照して入力商品順に売上げ計算をする売上げ処理手段と、前記まとめ売り情報ファイルを参照してまとめ売り値引き額を計算するまとめ売り値引き処理手段と、前記売上げ処理手段と 前記売り値引き処理手段の処理結果を出力する出力手段と、を有することを特徴とするPOS売上げ登録装置。

【請求項6】 前記商品情報が、商品の名称、価格、まとめ売りの対象／非対象等を含む、請求項5に記載のPOS売上げ登録装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明はPOS（販売時点情報管理）装置に関し、特に、まとめ売り販売（商品を複数購入することで、一定額にて販売する値引き販売方法。バンドル・ミックスともいう）に際して商品データの入力順序によらず、常に販売時の合計金額が変わらないようにした売上げ登録方法および装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来からこの種の売上げ登録方法を実現するPOS装置は、種々知られている。例えば、特開平1-111298号公報（以下、先行技術1と呼ぶ）には、POS端末装置のメモリにまとめ売り情報を記憶させ、マニュアルによりまとめ売り宣言、まとめ売り成立個数、まとめ売り合計金額を入力することにより、正しい販売価格、売上総計等を得るようにした「バンドル・ミックスマッチ・マニュアル制御方式」が開示されている。先行技術1では、まとめ売りを行う時には、POS端末のキーボードよりマニュアルでまとめ売り宣言を行う。次に、まとめ売り成立個数をマニュアルにより入力し、次いでまとめ売り合計金額を同じマニュアルにより入力して登録しておき、その後商品登録を行う。POS端末から登録された商品が、宣言したまとめ売り成立個数に達するまでその対象商品となるが、まとめ売り成立個数を越えた分については自動的にまとめ売り対象からはずれ、通常の商品となる。まとめ売り宣言が、商品登録の前であるため、まとめ売り対象の商品が複数部門にまたがった時でも値引き額を均等に割れるため、部門毎に売上げが偏ることがなくなる。

【0003】 また、特開昭61-180363号公報（以下、先行技術2と呼ぶ）には、まとめて所定量購入すれば価格値引きするというバンドル商品に対する会計処理を自動化することにより、オペレータがバンドル商品も非バンドル商品と同様に扱うことを可能とした「商品販売方式」が開示されている。先行技術2において、バンドルファイルはコード（JASコード）とそれに与えた相対番号からなり、バンドル価格ファイルは相対番号と数量と価格からなっている。顧客がバンドル／非バンドル商品の混在するかごをレジに持込むと、その商品がJANコードがスキャナで読取られ、PLU制御部等を介してバンドルファイルがアクセスされてチェックが行われる。その結果バンドル商品については、JANコードの欄の相対番号が読取られ、その番号でバンドル価格ファイルがアクセスされて数量及び価格が読出される。このようにバンドル商品に対する会計処理が自動的に行われることにより、バンドル商品も非バンドル商品と同様な扱いをすることができる。

【0004】 しかしながら、このような先行技術1および2に開示されたような従来のPOS装置においては、価格の異なる商品のまとめ売り販売を行った場合に、まとめ売り対象品の個数がまとめ売り成立設定数の整数倍とならないとき、端数となった商品の価格によって合計金額が異なることがある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 上述した従来のPOS装置には、以下に述べるような問題点がある。すなわち、まとめ売り対象品の個数が、まとめ売りが成立する設定数の整数倍とならないとき、売上げ合計金額に違い

ができることである。その理由は、商品データの入力順にまとめ売りの成立を決定して値引きを実行しているため、まとめ売りの成立しない半端な商品があったとき、この商品の価格の違いが合計金額の違いにでるからである。

【0006】したがって、本発明の技術的課題は、まとめ売り販売において、商品データの入力順によらず、常に合計金額が変わらない売上げ登録方法および装置を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明の売上げ登録方法は、1取り引きの中でのまとめ売り対象商品について、価格の高い順にまとめ売りを成立させ、値引き合計額を計算するステップと、その値引き計算結果により売上げ合計金額を算出するステップとを含む。

【0008】また、本発明の売上げ登録装置では、1取り引きの中でのまとめ売り対象商品について、価格の高い順にまとめ売りを成立させて、値引き合計額を計算する手段と、その値引き計算結果により売上げ合計金額を算出する手段とを有する。

【0009】

【作用】売上げ入力した商品がまとめ売り対象商品であった場合、その商品情報（品名、価格）を記録している、1取り引きの精算時に、商品価格の高い順にまとめ売り値引き額を計算する。この計算結果により、売上げ合計金額を算出する。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

【0011】図1を参照すると、本発明の一実施の形態によるPOS売上げ登録方法を実現するPOS装置10は、商品データを入力する商品入力部11と、入力商品順に売上げ計算をする売上げ処理部12と、まとめ売り値引き額を計算するまとめ売り値引き処理部13と、途中の処理結果と合計金額とを出力する出力部14と、商品の名称、価格、まとめ売りの対象／非対象等の商品情報を格納する商品情報ファイル15と、まとめ売り値引き設定額情報を格納するまとめ売り情報ファイル16とから構成される。

【0012】図2に商品情報ファイル15の一例を示し、図3にまとめ売り情報ファイル16の一例を示す。

【0013】次に、図4を参照して、図1に示したPOS装置の動作について説明する。まず、商品データ入力部11から商品データを、まとめ売り対象品／非対象品、及びその価格を意識せずに入力する（ステップS1）。次に、売上げ処理部12は、商品情報ファイル15より商品価格を参照して売上げ処理を行なう（ステップS2）。次に、売上げ処理部12は、まとめ売り対象／非対象を商品情報ファイル15を参照して確認し（ステップS3）、対象品の個数がまとめ売り成立

個数に達した場合、まとめ売り値引き処理部13はまとめ売り情報ファイル16を参照して値引きを行う（ステップS4）。そして、出力部14は1商品の売上げ結果を出力する（ステップS5）。次の商品がある場合（ステップS6のYES）、ステップS1に戻って上述した処理（ステップS1～S5）を繰り返す。

【0014】次の商品がない場合（ステップS6のNO）、まとめ売り値引き処理部13は、まとめ売り対象商品で成立設定数に達しない半端があるか否かを確認し（ステップS7）、半端がある場合（ステップS7にYES）、まとめ売り対象品の価格の高い方から順にまとめ売りの計算を行った結果との差分を計算する（ステップS8）。そして最後に、出力部14は売上げ合計金額を算出して出力する（ステップS9）。

【0015】

【実施例】次に、図5を参照して、本発明の実施例について図面を参照して詳細に説明する。価格が300円の商品Aと価格が330円の商品Bと価格が350円の商品Cの3種類の商品があるとす。そして、3個まとめて800円で販売するまとめ売りが設定されているとする。このような状況の下で、顧客が商品Aを2個、商品Bを2個、商品Cを1個、合計5個の商品を購入したとしよう。そして、オペレータは、商品をA、B、B、A、Cの順で商品データの入力を行ったとする。

【0016】商品をA、B、Bまで処理した所で、まとめ売りが成立し、この3個の合計額が800円になるように160円の値引きを行う。次に、商品A、Cの商品売上げ処理を行ない、商品価格の高い順にまとめ売りを成立させた場合の合計金額1,400円とこのまま合計金額を算出した場合の1,450円との差、すなわち、50円の値引きを行なう。

【0017】本発明は上述した実施形態に限定せず、本発明の趣旨を逸脱しない範囲内で種々の変更・変形が可能である。

【0018】

【発明の効果】以上説明したように、本発明では、1取り引きの中でのまとめ売り対象商品について価格の高い順にまとめ売りを成立させ、値引き合計額を算出し、売上げ合計金額を出力しているので、まとめ売り対象商品の個数が、まとめ売りが成立する設定数の整数倍とならないときでも、売上げの合計金額を常に一定にすることができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態によるPOS売上げ登録方法を実現するPOS装置を示すブロック図である。

【図2】図1に示したPOS装置に使用される商品情報ファイルの一例を示す図である。

【図3】図1に示したPOS装置に使用されるまとめ売り情報ファイルの一例を示す図である。

【図4】図1に示したPOS装置の動作を示す流れ図で

ある。

【図 5】本発明の実施例を説明するための図である。

【符号の説明】

10 POS装置

11 商品データ入力部

12 売上げ処理部

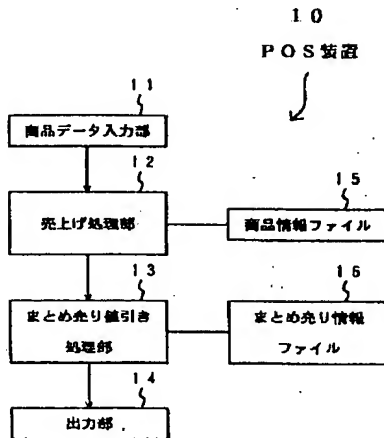
13 まとめ売り値引き処理部

14 出力部

15 商品情報ファイル

16 まとめ売り情報ファイル

【図 1】



【図 2】

15

商品名	価格	まとめ売り フラグ
商品A	¥300	1
商品B	¥330	1
商品C	¥350	1
...
商品xx	¥500	0

まとめ売りフラグ: 1/対象, 0/非対象

【図 3】

16

まとめ売り パターン	対象品	まとめ売り 成立個数	まとめ売り 価格
パターン1	商品A, 商品B, 商品C	3	¥800
パターン2	商品D, 商品E	2	¥1,500
...
パターンx	商品○○, 商品△△	5	¥1,000

【図 5】

出力例

A	300円
B	330円
B	330円
	-160円
A	300円
C	350円
	-50円
合計金額	
1,400円	

まとめ値引き
合計 1,450円①
①-②

商品価格の高い順に
まとめ売り計算した場合

C	350円
B	330円
B	330円
	-210円
A	300円
A	300円
合計 1,400円②	

【図4】

